



青森県立名久井農業高等学校

FLORA HUNTERS AQUA
 厄介者を救世主に～富栄養化池沼の肥料化研究～
 可能な限りエネルギーを使わない方法を用いた、富栄養化池沼の肥料化研究を行った。富栄養化池沼は放置すると藻類が発生し毒性のあるマイクロシスチン排出によってブルーベビー症候群を引き起こす。世界の農村部では約7%が死亡する大きな問題となっている。



青森県立むつ工業高等学校

地中熱融雪研究班
 R5 課題研究 地中熱利用による融雪研究と地中熱利用の可能性について
 9年前、先輩方はお年寄りの方が苦労しながら「雪かき」している姿を見て、地中熱融雪装置の研究に取り組んだ。更に融雪面にビニルハウスを建設し、イチゴ栽培に取り組み、SDGs2番の「飢餓をゼロ」を目指す。工業高校の目標である「ものづくり」に励み研究する。



青森県立木造高等学校

総合的な探究の時間「環境保全プロジェクトチーム」
 つがる市の豊かな自然を守る～ガシャモク保全活動2022-23～
 つがる市で、絶滅危惧種1A指定の水草「ガシャモク」が見つかりました。ガシャモクが生息している沼の現地調査や、学校での栽培実験のほかに、インスタグラムでの保全活動の情報発信を行いました。「自然豊かなつがる市」として後世に残していくことを目指しています。



八戸工業大学第二高等学校

ウミネコ班
 変わりゆく蕪島～ウミネコの繁殖率の推移から～
 100年後も八戸市の象徴である蕪島に多くのウミネコが乱舞する姿、それが豊かな海の象徴であることを、研究を通して検証していく。ウミネコの繁殖生態や繁殖行動を主体に調査した。このことにより、野生生物の保護や環境保全への理解を深めていきたい。



岩手県立花巻農業高等学校

食農科学科2・3年 ソーセージ研究班
 我らホップ調査隊～ルプリンの抗菌力に関する研究～
 日本一の栽培面積を誇る遠野市のホップ。「穂花本体ではなく内部の樹脂であるルプリンに抗菌力が存在するのではないか」という仮説を立てた。遠野市のホップ、花巻市の白豚豚、北上市の規格外の二子芋という地域の資源を交えたソーセージを製造した。



青森県立名久井農業高等学校

FLORA HUNTERS
 水がなくなる前に～超節水栽培の開発～
 近い未来、水不足が問題になると警鐘が鳴らされている。私たちが考案したのは、ごく少ない養液を霧状に噴霧する栽培システムで使用する水を70%以上も節約できる。また噴霧する時間帯を変則的にプログラムすることで高糖度トマトも生産可能になることを明らかにした。



青森県立名久井農業高等学校

環境研究班
 肥料藻文化を世界に～淡水水草の液肥化研究～
 1950年代初期まで日本各地の沿岸部で行われていた沈水植物を肥料として用いる肥料藻文化。途上国の持続的農業に貢献したいと考え、世界の淡水に自生する沈水性(水中に生息)水草を材料に、短期間でできる液体肥料の研究を行った。



青森県立三本木農業恵拓高等学校

チーム・COW飼うS
 高オレイン酸ヒマワリ種子飼料化プロジェクト
 美味しい牛肉生産を目標に掲げ、黒毛和種の高オレイン酸ヒマワリ種子の飼料化に向けた研究を行い、第6回和牛甲子園では過去最高値となるオレイン酸割合60.7%の牛を生産できました。また、飼料生産と地域の景観改善に取り組み、保育園とのヒマワリ植栽活動を実施できました。



青森県立柏木農業高等学校

生物生産科野菜班
 津軽ホクホク物語～カボチャの産地化と持続可能な農村地域を目指して～
 地域企業と連携しながら地域農業の活性化や持続可能な農村地域づくりに向け、カボチャの栽培から販売までの活動を展開しています。また、活動の様子は学校公式のSNSを活用して発信しています。今後も地域と連携しながら、持続可能な津軽地域のために活動していきます。



岩手県立花巻農業高等学校

洋菓子研究班
 未来の食卓に彩りと笑顔を！～花巻産ゴールデンベリーの普及を目指して～
 花巻市で栽培され始めたゴールデンベリーの規格外品が毎年約60kg以上も廃棄されている。その規格外品をロールケーキに使用した「華巻ロール」を考案、2年目の研究に取り組んでいる。この活動が市内洋菓子店の目に留まり、商品化が決定。販売会を開催し大盛況となった。



岩手県立久慈東高等学校

総合学科 環境緑化系列 森林生態科目群
 日本一の「白樺美林」再生プロジェクト～白樺資源の活用に関する研究～
 久慈市平庭高原の白樺美林は、衰退につながる「高齢化問題」が深刻化している。そこで、倒木した白樺を利用し、木炭やモルックを製作する白樺再生プロジェクトが構築された。また地元と連携し白樺モルックの普及活動を進め、地域活性化を目標に研究している。

